



S35. 高圧研究室

CONTENTS

横浜電子情報工学会会長挨拶 谷 公夫	2	学生支援の記事	12▶13
電子情報工学科長挨拶 荻野俊郎	2	電子情報工学科の現状	14
廣瀬先生への「送る言葉」・新任教員の紹介	3▶4	卒業生の進路	15
新任教員の紹介・クラス会だより	4▶6		16▶17
退職後の近況	7	維持会費・賛助会費納入者名簿	18
職員の近況	8▶11	会計報告	19
21年度大学イベントカレンダー	11	会費納入のお願い	20

新任教員の紹介・クラス会だより

新任教員 挨拶／横浜国立大学大学院工学研究院

はじめまして、史 虹波と申します。私は平成20年11月1日に、研究教員として本学に着任いたしました。私は中国上海生まれ、高校を卒業後に日本に参りました。早稲田大学、大学院で留学しました。博士卒業後に、東京医療保健大学で助手をする間に、遠隔読影、電子カルテの研究を少し手伝わることができ、医学の発展における工学技術の重要性を感じました。私は大学時代から始めた情報ネットワークを専門とし、インターネットの移動通信プロトコルを研究しております。今日、高度発展してきた通信、情報ネットワーク技術を用いて、緊急医療、地域医療の役に立つような高信頼の移動通信ネットワーク技術を研究していきたいと思います。

着任して半年になりました。周りの先生方々、職員の皆様からたくさん親切なご指導、ご協力をいただきながら、毎日、楽しく充実に研究教育の仕事をしております。深くお礼を申し上げます。まだ教育研究において、未熟なところが多く、これから先生方々、職員の皆様のご指導、ご鞭撻のもとで、精進していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。



研究教員 史 虹波

横浜国大 昭和36年卒業生状況報告

2009年3月6日に田町（三田）のNEC芝俱楽部にて、同期会開催。

28人中、逝去者3名、連絡つかず2名、出席者下記9名

出席者（卒業当時の出席簿順、敬称略）

高石周志、塚原園子、奈倉理一、野口豊、野々村誠一、松本守治、松本慈和、

倉田（山崎）嘉也、宮崎信吾 以上9名

前回集まってから3年過ぎていて月日の経つのが速いことを痛感しました。前回都合で欠席の塚原園子さんも出席し、当時の電気工学科として希少な女子学生の思いも語って頂けました。高度成長が始まった時代で、男子学生は大企業を学生の話し合いで決められた幸せな時代でした。但しこの企業も女子学生は採用しないという、今では考えられない状況で、塚原さんは悔しい思いをしたとのことです。前回は久方ぶりだったため、各自の状況を話すことで時間が尽きましたが、今回は多様な話が出来ました。皆が古稀を過ぎ、最初は健康のことや元気になりました。一人が癌の手術をしたというと、俺もしたところだ。という所迄は同じなのですが、一人は医者の言う通り酒も控えているというと、俺は薬を飲むと調子が悪く、医者の言うことは全く守っていないなどで盛り上がってしまいました。くも膜下出血の大手術を2回もされたことなど尽きない話となりました。その他様々な話題が出ましたが、我々の学生時代は60年安保で、皆で学生鞄を持ったまま国会のデモに参加するという素朴な時代だったことに思いを馳せました。現代の航空幕僚長の意見なども話題に出ましたが、これには多様な見解が有り、次の機会に日本の憂るべき現状などを話すことになるでしょう。いずれにしても楽しいひとときで、来年の予定を決めて散会しました。

研究室同窓会



(文責：奈倉理一)

YK39会（昭43卒相当）

クラス幹事 木之下恒雄

一線で活躍中の友、趣味に生きる友、それぞれ癖がありますが、かつて緑濃き丘に登りて共に語り共に学んだ我が友ですから集まれば、それはまあ楽しいこと賑やかなこと！

その2回／年の定例活動の、一つは昨春のゴルフ懇親会で本千葉CCに12名が集まり、岐阜県の入江君優勝、備瀬君が準優勝でした。（写真1）二つは昨秋、秀峰富士を見上げる一泊の懇親会／ゴルフで、山中湖マウント富士に16名が参集。今回は40年ぶり再会の星君が「おお、星！」と注目を集め、それはもうまばたく“☆”のようでした。（写真2）翌朝から11名が富士GCの難コースを攻めて、中国仕込みの林君優勝、坂口君準優勝、関君BBの結果でした。とにかく集まれば意気軒昂に自分を語り、友の目を見つめて聞き入ります。いいですね、集まると！

メール網でも元気です。亀井君の都立美術館大作展示の案内、池原君出演のアルプホルン演奏会案内、アルプホルン連載講座、さらにアルプホルン共振波長や平均律の工学的議論もあって活発なネットワークとなっています。

このような賑わいも「万年幹事長の松原大兄のお陰でこそ」と会員の一致した気持です。松原君、ありがとうございます。



写真1 2008-04-20(日)@本千葉CC

関、林、坂口、菅原、津田、川崎、谷合
木本、入江、原、松原



写真2 2008-10-18(土)@山中湖マウント富士

林、牧本、木之下、関、古賀、広瀬、松木、坂口、大串
星、前田、備瀬、木本、原、松原、谷合

日本発の製品・技術を世界へ

導入実績 No.1

TISQ Performance Insight



データベースやサーバーに関する高い技術力を武器に
『妥協しないテクノロジーカンパニー』として、
IT基盤、ストレージ、セキュリティ一分野でさらなる攻勢をかける

■株式会社インサイトテクノロジー
代表取締役社長 石井 洋一（昭和45年卒業）

■プロフィール
昭和45年 電気工学科卒業
平成3年 日本IBM(株) アジアパシフィックソリューション担当専務担当
平成13年 日本オラクル(株) 取締役副社長執行役員常設統括本部長
平成15年 (株)ジー・コラボ 代表取締役
平成18年 (株)インサイトテクノロジー 代表取締役社長

Insight Technology, Inc. 

データベース エンジニア募集中

株式会社インサイトテクノロジー
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿西2丁目4番6号 リビル8F
フリーダイヤル: 0800-123-1310
URL: <http://www.insight-toc.com/>

～お知らせ～

第15期 エイプリルフールな幹事会

4月1日夕方、常盤台キャンパスで拡大幹事会が開かれ、クラス会開催と会誌発行の段取りが話し合われました。有志による弘明寺での花見の後、銘酒「弘明寺」を嗜みながらの会合で、はじめの一時間は思い出話、次の二時間で議事が終わり、後は、放談。今回の「クラス会だより」は、過去を忘れて未来の話です。

クラス会開催

隔年開催のクラス会が下記のように開催されます。

- ・日 時：7月18日（土）2時～5時
- ・場 所：法曹会館（桜田門）

前回は24名の参加でした。今回はもっと集まると期待しています。

会誌「むつごろう」第5集発行

皆さんの近況が分かるようにと発刊されたクラス会誌「むつごろう」も第5集になり（目標は20集です）、すでに表紙が出来上がっています。日程は、

- ・原 稿：6月30日締切り
- ・発 行：7月クラス会当日

原稿は1行から受け付けております。

連絡は影井清一郎へ。〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7 横浜国立大学 環境情報研究院、E-mail : kagei@ynu.ac.jp、電話&Fax : 045-339-4399（直通）

テストソリューションカンパニーとして
柔軟かつ迅速にお応え致します。

株式会社 **シスウェーブ**

代表取締役社長 鬼畠 哲夫(1970年 電気工学科卒)

〒211-0063

神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目403番地 小杉ビルディング

TEL:044-738-2470 FAX:044-738-2480

URL:<http://www.syswave.jp/>

事業内容・LSI開発事業
・システム開発事業



「常識の科学性」について調査研究をしています。これが嘗て仕事した「複雑系科学」研究の余韻です。今の所「常識」の科学性は高く、それが「ことわざ」に成句されていることが判り面白い。やり甲斐を覚えています。

太田 時男

園芸と園芸を趣味とし、大学に勤務する長女家族と同居しています。平成18年家内に先立たれ、孫娘（小5・小2）とも世話をし合いながら過ごしています。

池田 吉堯

78歳の時、ISEC-TC73ドレスデン会議で国内委員長を幹事の方にバトンタッチし、完全にデューティーフリー。昨年は若い頃には想像も出来なかった金婚式を子、孫に囲まれて祝い記念にオランダ・ベルギーのリバーカルーズを楽しむ。

都立一中の同期会、一高歩く会の世話役で忙しくすごしている。

芹澤 康夫

ゴルフと読書を楽しんでいます。ゴルフは週一回のラウンドと週三回の練習場通いで、いずれもシニアプロゴルファーのコーチを受けて励んでいます。

読書は数学史、天文学史、中国古代史などです。最も感銘を受けた本は「パロマーの巨人望遠鏡：岩沢文庫」でした。

都築 泰雄

平成21年3月31日に8年間勤務した横浜創英短期大学（学長5年間）を退任。（株）よこはまティーエルオー代表取締役、ナーシング・ケアサービス・システム（株）代表取締役社長、CLPA会長等の活動は続行。

関口 隆

特に拘束される仕事はしておらず、毎週一回、業界誌出版社のホームページにコラムを執筆している程度です。他には海内外への旅行を月二回程度、冬にはスキーへとよく出かけております。最近4年は10万トン級客船のクルーズが病みつきになり年二回の割で出かけております。

角野 圭一

2003年まで5年間勤務させて頂きましたが、その間に注力した量子井戸光変調デバイスの研究などを中心に、光・半導体エレクトロニクス分野で仕事を続けています。金沢工業大学東京虎ノ門キャンパスで社会人大学院課程の教育や研究指導にも従事しています。

多田 邦雄

小生、現在よこはまTLOにおいてほとんど毎日本学に来ております。

本TLOは教員の外部資金獲得の支援という観点から、関口（電情）久留島（経済経営）両現名誉教授とともに立ち上げ、紆余曲折はありましたが9年たった今も活動を続けています。何かプロジェクト立件に関してご要望があればご連絡ください。お役にたてるよう頑張ります。

塙本 修巳

日本工業大学教授・超高電圧研究センター長として、引続き高電圧・電力工学分野の研究と教育に従事。最近の研究課題は、ポリマーがいしの性能評価、避雷器と絶縁協調、雷害防止、電線・ケーブル・電力機器類の絶縁劣化診断、高電圧試験法の国内外規格、等。

西村 誠介

中央大理工学部教授と産総研情報セキュリティ研究センター長とを兼ね、忙しい日々を過ごしています。最大の楽しみは2歳半の孫です。現在彼は米国にいるため、週一回のTV電話で話すだけですが、先日会いに行きました。夏休みには3世代でクルーズの予定です。

今井 秀樹

京都大学に移り、早1年が経ちました。西山の麓にある桂キャンパスで横浜国大在職中と同様、超伝導のエネルギー分野、医療分野などへの応用の研究を行っております。桂キャンパスは京都市内を一望に見おろすことができる気持ちのよいところです。

雨宮 尚之

昨年度（20年度）、退職致しました。ここまで来られたもの、多くの卒業生の方々に支えられたおかげです。皆様の益々のご活躍を念じております。

廣瀬 靖雄

職員の近況

21年度をもって定年退職することになります。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 石井 六哉**

有澤研究室では、マルチメディア情報処理、特に最近は医療画像処理に注力し、横浜市立大学医学部の放射線医学の方々と「がん自動診断システム」を開発しています。最近の成果ではPET-CTという装置の画像から99パーセントの精度でがんの部位を発見できています。そのほか看護学科の方々とモーションキャプチャ等を用いて、人体の動作や負荷の測定でも成果をあげています。

**情報メディア学コース/電子情報工学科
教授 有澤 博**

学科長挨拶にも書いたのですが、6年と少し前に本学科に加わりました。名前を覚えていただけると幸いです。もともとの専門は、半導体デバイスですが、現在は半導体とナノテクノロジー・バイオテクノロジーとの融合領域を研究しています。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 萩野 俊郎**

本年3月まで工学研究院長を務めてきましたが、4月より理事・副学長（総務・研究担当）を務めることになりました。これまで部局の要望などを前理事・副学長に伝えて交渉する立場でしたが、今度はテーブルの反対側に座ることになってしまったような感覚です。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 國分 泰雄**

昨年暮れに就職担当を羽路先生から引継ぎました。年初から経済状況が悪化する中、現在、就職戦線最前線で奮戦しています。2011年4月採用の求人情報はお早めに！！

2010年4月採用をめざす有為な学生もまだおりますので、よろしくお願ひします。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 足立 武彦**

最近は、学内外の仕事が増えてきて、自分の時間がなかなか取れません。研究室のメンバーは、6カ国8名のインターナショナルなメンバーを入れて、総勢30名近くになっています。パワーエレクトロニクスや2足ロボットなどの教育研究を行っています。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 河村 篤男**

以前と変わらず、「電力システム」に関する研究を行っています。ただ、電気事業の自由化が進展し、また、太陽光や風力などの分散電源が導入されるようになったため、研究テーマもそのような問題にどう対処するかを考えるものに変わってきています。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 大山 力**

H20年度に文部科学省グローバルCOEプログラム「情報通信による医工融合イノベーション創生」が採択され、拠点リーダーを務めています。受験生や企業からの評価も上がり、教員や院生の教育研究に大きな支援となっています。

医療ICTをライフワークとし頑張っております。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 河野 隆二**

だんだんと自分より上の先生方がおられなくなり、学生さんも自分の子供と同世代になりました…。研究室ではシリコンデバイスをベースとした強誘電体や高誘電率薄膜の研究をしています。2年間就職担当としてOBの皆様には大変にお世話になり、ありがとうございました。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 羽路 伸夫**

最近専門を聞かれると「情報・物理セキュリティ」と答えることにしています。暗号は理論に加え、装置の消費電力分布等を使った攻撃への耐性を、また生体認証や人工物メトリクスのセキュリティ分野を開拓しています。国際暗号学会理事は3期目となりました。

**情報メディアコース/電子情報工学科
教授 松本 勉**

知能情報学・知能ロボティクスについて研究しています。昨年、横浜国立大学発ベンチャー（(株)マシンインテリジェンス）を起業し、画像処理自動生成 ソフトウェアの販売を開始しました。ご興味がおありの方はぜひご連絡下さい。

**情報メディアコース/電子情報工学科
教授 長尾 智晴**

今年度は大学院工学府物理情報工学専攻長、ならびに教員組織である知的構造の創生部門、電気電子と数理情報分野の分野長を仰せつかっております。学科・コースの運営において主に人事を扱うコース教授会の主査を務めており有望な若手人材を発掘したいと考えております。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 新井 宏之**

今は高速・低消費集積システムの研究、特に単一磁束量子回路、量子コンピュータ、低温CMOS回路、断熱回路などを研究しています。毎年11月に研究室のOB、OG会を行っています。

最近、同窓会の連絡が来なくなったOB、OGは私に連絡先を知らせてください。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 吉川 信行**

フォトニック結晶とシリコンフォトニクスが話題。スローライトに注力中。レーザはDNAなどバイオ応用。EBは5台目、エッティングは4台目。忘年会・旅行・花見などOB/OG共に毎年開催。年5～8回の海外講演、通勤中の原稿執筆、週末は子供の野球の付添など。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 馬場 俊彦**

相変わらず自然言語処理に興味があります。最近では、Web等の大量文書を対象にした知的情報アクセスに関する研究に力を入れており、質問応答や自動要約、情報抽出などに重点を置いています。研究室は、電情棟から、西門の近くの総合研究棟に移っています。

**情報メディア学コース/電子情報工学科
教授 森 辰則**

従来からの磁性薄膜・デバイスに加え、ナノリソグラフィ、磁気センサ（ホール、MR・GMR、大バルクハウゼンジャンプなど）、渦電流による非破壊検査、磁気を利用したセキュリティ技術、磁気医療支援技術、磁性ナノ粒子のバイオ応用など研究の幅が広がってきました。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 竹村 泰司**

今年度の広報委員を仰せつかっております。高大連携や自学教育を取り入れた本学科の魅力が伝わる広報活動ができたらと思っております。そのために教育研究の充実をはかる一方卒業生からのサポートを強く期待しているところです。

**電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
教授 濱上 知樹**

情報処理概論を長く担当していましたが、数年前から数値解析の担当になっています。カリキュラム変更の関係で今年度から3年生の講義となりました。

**環境数理解析学コース/電子情報工学科
准教授 有光 直子**

職員の近況

本学に着任して5年がたちました。リクルーターで来学する旧友に再会したり、第1期の卒業生が結婚するなど、嬉しい話題も増えています。なお現在では無線装置の低ノイズ化に関する研究に取り組んでいます。本学にお越しの際は、お気軽に研究室にお立ち寄りください。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 久我 宣裕

引き続き、半導体ナノ構造の作製と光制御デバイス応用の研究を行っています。

研究室は学生約10名と小規模ですが、好青年ぞろいで雰囲気も良好です。OB・OGの皆さんもぜひ遊びにいらしてください。プライベートでは、子供二人が小学校入学、幼稚園に入園しました。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 荒川 太郎

現在、暗号理論及び理論計算機科学の研究に力を入れています。平成20年3月末から10ヶ月間はイスラエル工業大学(ETH Zurich)に客員研究员として滞在しました。今年の2月からまた横国大にいますので、卒業生の皆さんはいつでも気軽に遊びに来て下さい。

情報メディア学コース/電子情報工学科
准教授 四方 順司

最近は、生産システムやロボティクスの研究に加えて、らせん形状で推力の大きい新しいリニアモータ（名称：スパイラルモータ）の研究を行っています。また、様々な確率モデルを利用した非線形最適化や、次元の大きい系の非線形最適制御問題などに取り組んでいます。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 藤本 康孝

総合研究棟（西門の上の森だったところ）で、ユビキタス環境データベースの研究をしています。研究室は現在、RFIDタグで埋め尽くされています。それから、いつも有澤先生らと一緒にお昼ごはんを食べています。

情報メディア学コース/電子情報工学科
准教授 富井 尚志

今年も横浜マラソン・神奈川マラソンなどに参加予定です。怪我しない程度にがんばります。見かけたら声かけてください。研究室では今年もBBQなどイベントが多くあるでしょうか、OBの皆さんそうした機会にまたお会いしましょう。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 市毛 弘一

山に惚まれテレビの電波が届かない新居に引っ越して3年が経過しました。

3年以上、テレビを見ない生活を続けています。たまにテレビ放送を見ると非常に新鮮に感じます。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 落合 秀樹

研究室は創設6年目に突入し、電気自動車やナノスケールサーボなど発展しています。在学生たちは、あちこちで受賞されるなど頑張っています。OBからは、結婚の吉報が届き始めました。スキー旅行や花見、たこ焼きパーティなどイベントでも盛り上がっていますので、OBの皆さん遊びに来て下さいね。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 藤本 博志

早いもので「大矢研究室」を立ち上げてから1年経ちました。

研究室運営に四苦八苦しているうちにあっという間に時が過ぎ去ってしまいました。

本年度からは講義も担当することになり大わらわではあります、日々全力投球でやっております。

講師 大矢 剛嗣

着任して3年目となり、研究室の構成メンバーも博士前期課程と学部の学生あわせて8名となりました。2008年度の研究活動では、マルチホップネットワークに関する特許を国際出願しました。また、950MHz帯の実験局免許も取得しました。

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
助教 小野 文枝

昨年度は研究室立ち上げの年であり、何もかもが初めてづくしの一年間でしたが、プライベートでも5月に子供が生まれ、家族が賑やかになりました。父親としても新しい発見の毎日です。

学際プロジェクト研究センター/環境情報学府・情報メディア環境学専攻/電子情報工学科
助教 吉岡 克成

助教として卒研生を受け持つてから最初の1年が過ぎました。学生も努力してくれて、なんとか3人の卒業生を出すことができました。最近は昔からの趣味の音楽、ギター演奏、サッカー観戦に加えて、ゴルフを新しく始めました。どなたか一緒にプレーしませんか？

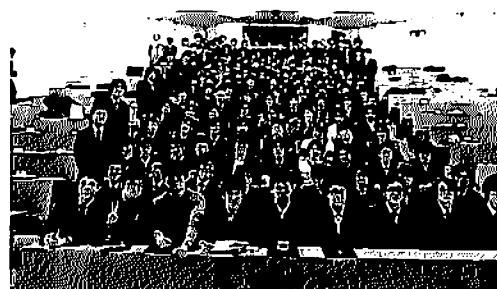
学際プロジェクト研究センター/電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
助教（電子情報工学） 山梨 裕希

この度は特別企画といたしまして、同窓会でお世話になった全ての先生方にも近況記事のご執筆をお願い致しました。退職された先生方からも、沢山の記事を頂き誠にありがとうございました。また、先生方には、限られた紙面にも関わらず、ご協力をいただきありがとうございました。

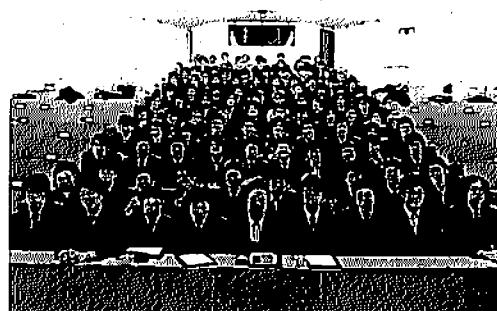
会報編集者一同

21年度大学イベントカレンダー

- 4月3日（金）入学式
- 5月30日（土）～5月31日（日）清陵祭
- 6月1日（月）開学記念日
- 7月11日（土）平成21年度同窓会・総会・意見交換会・懇親会
- 10月30日（金）～11月1日（日）常盤祭
- 11月8日（日）第4回ホームカミングデー
- 1月15日（金）～17日（日）大学入試センター試験
- 2月25日（木）～26日（金）個別学力試験（前期日程）（予定）
- 3月12日（金）～13日（土）個別学力試験（後期日程）（予定）
- 3月25日（木）卒業式（予定）



学部学位記授与後



修士学位記授与後

20年度成績上位5名表彰式



関口 貴生 様
石堂 真大 様
小沢 暖 様
江間 研自 様
根岸 弘樹 様

以上、5名の皆様おめでとうございました。

記念品といたしまして腕時計が（名前の刻印入り）

谷 会長より授与されました。

平成21年3月26日 ロイヤルパークホテル（謝恩会にて）

電子情報工学科 同窓会企画「先輩からのメッセージ」

(社会で活躍するOB/OGから学生の皆さんへの将来に向けた提言)

平成19年度から始まった同窓生の皆さんによる講演会。平成20年度も11～1月に計4回、様々な世代の8名の講師の方々に大学にお出でいただき、現代の技術トレンド、ご自身の貴重な社会体験や考え方、学生時代の大切な思い出などをお話しいただきました。平成19年度は不特定多数の学生を対象にしたのが災いし、内容が大変素晴らしかったにもかかわらず、聴衆が50名程度にとどまりました。その反省に加え、同窓会と大学の結びつきを強めるため、平成20年度はこの講演会を「大ゼミ」と改名し、学生実験の余白の時間帯を利用して学部2年生に積極参加してもらう形式に変えました。おかげで聴衆は倍増！2年生にとって長く続く勉強のモティベーションを高めるのに十分な、刺激的なトークを以下にご紹介します。

前田稔さん（1965年卒、ファイベスト）「ベンチャーに携わって」

日立製作所の光事業推進本部長を勤め、その後、日本オプネクスト、ファイベストとベンチャー経営に携わった前田さん。光モジュールの製品化の話を交えつつ、研究所で誰にも負けない世界トップ技術を目指した修行時代、社内ベンチャーの光事業立ち上げ、ベンチャー企業の本格的な設立・経営と歩まれた経験を力強くお話しいただきました。大学で役立った授業は？という質問に対して、専門よりも基礎！回路や電磁気をしっかりやっていれば大丈夫、という言葉には学生もビックリした様子。



森康平さん（1997年飛び級、ソニー）「電気技術者の品格」

飛び級制度ができるから最初に博士課程まで進んだ森さん。高速伝送用ICや基板の設計に触れつつも、むしろ社内で実施したアンケートをベースに学生と対話形式の講演となりました。いきなり「大学の授業は役だったと答えた社員の割合は？」多くの学生の「役立たなかった」という予想に対し、実際はほとんどが「役立った」！これには教育側がホッとしました。また、やはりやりたい仕事ができている人が一番幸せを実感できているようです。ごく最近までUCLAに在外研究していた経験もご披露いただきました。



谷公夫さん（1970年卒、NTTドコモシステムズ）「リアルタイムマネジメント」

現同窓会長にしてドコモシステムズ社長の谷さん。実は講演前日に講師の変更を余儀なくされ、電話一本でお引き受けいただきました。同窓会のありがたさを痛感します。NTTの情報システムをずっと率いてこられた中での成功例がリアルタイムマネジメント。顧客情報をその場入力、データベース化することで、繁雑な作業を極力なくす方法です。また企業の健全な経営を支える管理システムが経産賞から表彰されたエピソードも。「情報システムは機械的な作業を省き、人間らしさを復活させるツール！」



今井さやかさん（1995年卒、相模女子大学）「情報系・メディア系教育に携わって」

本学で学部から博士課程まで進み、その後、本学の研究員、群馬大の助手、そして現職の相模女子大講師まで、一貫してアカデミアとしてデータベースの研究教育を続ける今井さん。学生時代の研究室の生活を克明に紹介いただいたほか、群馬大で津波の歴史や科学をまとめた津波ライブラリプロジェクトに携わってきたご経験、相模女子大での文理融合教育のお話などを伺いました。特に「津波」の地図と画像のデータベース化は、Google Mapを先取りする先進的な研究。



海老名季晴さん（1982年卒、NECエレクトロニクス）「変化する市場環境に応じた生産自動化への取り組み」

メカトロ技術に携わりたいという思いから、入社後、ポケベル、携帯電話などの生産ライン構築を手がけてきた海老名さん。工場では実際にどのような流れで製品ができるのか、何が無駄を省くキーか、どのような工夫や発想転換を繰り返してきたか、発売日にこぎ着けるためにどのような網渡りをしてきたかなど、リアリティ溢れるお話を伺いました。自ら汗をかく、情熱が冷めないうちにやるなど、まさに「現場に起こっていることを知る人」のお言葉です。



松崎二葉子さん（2001年卒、ソニー）「ものづくりを通して得られたもの。」

これまで講演者の中の最年少、松崎さん。現在、育児をしながら、ディジカメの画像処理技術を開発中。自分に与えられた課題「白点補正」に取り組むうちに、夜空の星も風呂場のタイルも白点に見えてきた！うまくいったと思ったら、アッという間のプロジェクト解散。企業にありがちなリアルな苦労話を聞かせていただきました。また自分の技術を何としても製品化したいという強い気持ち、そしてついに製品に入ったときの感動など、若い情熱を爆発させた熱弁でした。



乙部孝さん（1968年卒、滝野国際特許事務所）「研究開発と特許の関係」

ソニーでビデオディスク、BS受信機、光伝送や光無線を研究開発した後、弁理士となって特許事務所に転身、自らも事務所を開設した乙部さん。改善はアイデアから生まれることを力説され、雪見だいふく、ファイナルファンタジー、青色発光ダイオードなどなど、発明になるアイデアを解説いただきました。これらは学生にとって大変新鮮だった模様。また、1日にたった1%他人よりも余計に努力すれば、1年で $1.01^{365} = 37.8$ 倍だけ先に進むことができるという人生アドバイスが印象的。



高橋太郎さん（1997年卒、トヨタ）「就職と転職で発見した10の真実」

ヒューマノイドロボットを開発していた高橋さん。ローラースケートの魅力的なビデオを披露いただいた後、社内の決定でプロジェクト縮小、転職を余儀なくされた苦労話に。その経験から、当時学生だった自分に聞かせたい10の真実を選定、学生にご披露いただきました。「大学は体系的に学ぶ最後のチャンス」、「教養は学んだことを忘れた後に残るもの」、「イヤイヤを発明しない」、「永遠ではない」、「誰か見ている」、「気持ちで動いている」などなど、含蓄に富んだ言葉の数々。



同窓会企画担当 馬場 俊彦 本学教員（1985年卒）

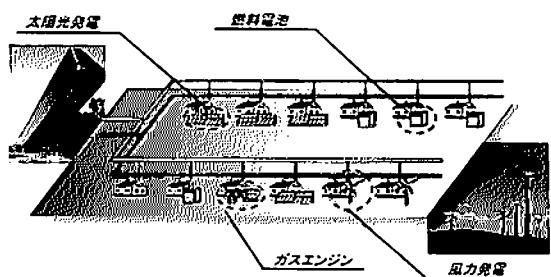
前回と同様、同じ学科で学んだ講師の皆さんからは、学生に対する深い愛情を感じられました。通常の技術講演会では、このように気持ちのこもったお話はなかなか聞くことができません。就職が近づく学部4年生や大学院生には、人事課やリクルーターの直接的な情報がより重く響くようになります。そのような切羽詰まった状況になる前の学生に、こういった現場の真実を伝えていただくことは、その後の人生や考え方の素晴らしいナビゲーションになると改めて思いました。どうもありがとうございました。ところで今回の皆さんの中、偶然、4人が同じ企業の関係者となりました。企画者としてはできるだけ幅広い機関から講師を集めているつもりですが、今回、このような偏りが出たことをお詫び申し上げます。平成21年度も多くの同窓生の皆さんから講師をご推薦いただけると期待しておりますので、どうぞよろしくお願いします。

辻研究室

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
助教 辻 隆男

エネルギー・環境問題が深刻となる中、電力自由化の影響を受けて、自然エネルギーを活用した「分散型電源」の導入が進展しています。しかし大量の分散型電源を含む将来型の配電系統では、その出力の不安定性に起因して電力品質の低下が問題となり、また適切な保護協調の実現が困難になることも懸念されます。そこで本研究室では、将来型配電系統において生じうる様々な技術的課題を解決できる、系統運用・制御技術の開発を進めています。具体的には、①複雑な挙動を示す配電系統の高速・柔軟な制御を目的とした「自律分散型システム」の構築、②最適化技術を用いた「集中型システム」の構築、③分散型電源を所有する需要家に制御協力へのインセンティブを付与する「経済制度」の研究、などを進めています。また効率的なエネルギー供給を実現するためには、需要の特徴に合わせて様々なエネルギー源を適切に組み合わせることが重要になります。この対策として、④エネルギーネットワークの最適構成手法の検討も進めています。

その他の研究課題としては、⑤基幹系統における同期安定性解析の研究、⑥事故波及防止装置の開発、⑦離島における新電力ネットワークの研究、などが挙げられます。また電力以外にも、⑧水道事業における配水システムの最適化、などの研究も始めています。まだ発足3年目の研究室ですが、これから研究領域を広げながら意欲的に取り組んでいきたいと思っています。



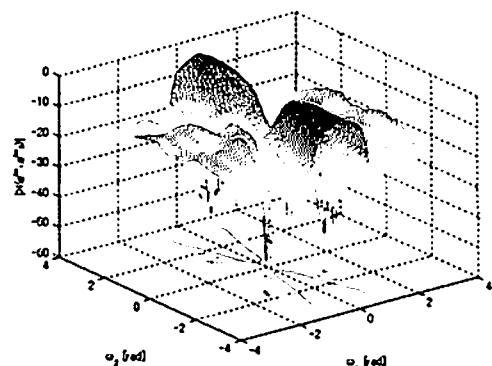
分散型電源を含む将来型配電系統のイメージ図

市毛研究室

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科
准教授 市毛 弘一

移動体通信技術の急速な発展の背景には、送受信ハードウェアのデジタル化および高速な信号処理技術の開発があります。本研究室では、デジタル信号処理をはじめ数値解析、最適化手法などの理論を基礎として、通信信号処理をはじめ様々な応用研究に取り組んでいます。最近は、第4世代移動体通信システムを実現するための要素技術のひとつである電波伝搬環境推定技術、時空間信号処理による信号選別技術などを主要課題として研究を進めています。

信号処理や最適化といった理論研究は、様々な応用に対して適用可能であるところが面白いところです。多少アレンジすることで、同じアルゴリズムを移動体通信と動画像符号化の両方の問題に適用可能で、それぞれ効果があります。本研究室では実際に、移動体通信のほかにも画像処理（特に静止画像・動画像符号化技術）、音響信号処理、マイクロ波回路、システム理論、DSP/FPGAによるデジタル実装技術など、一部は他研究室や企業との共同研究として幅広い応用課題の研究を進めています。



時空間広帯域信号処理のための2次元フィルタの最適設計例

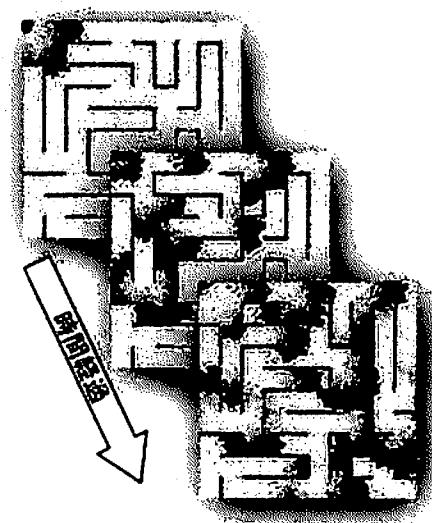
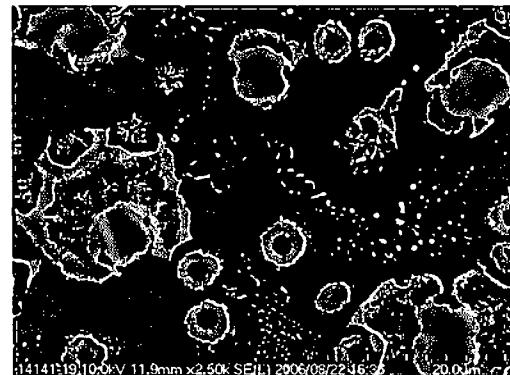
大矢研究室

電気電子ネットワークコース/電子情報工学科

講師 大矢 剛嗣

本研究室では一風変わったアプローチから“斬新な”ナノデバイスの創生・応用・システム構築を目指し研究を行っています。一つは「自然界に学んだ情報処理ナノデバイスの構築」であり、もう一つは「伝統技術との融合によるナノ複合材料の創生」です。

自然界ではあらゆるものが誰の手も借りずその形をつくりあげ、また様々なものが相互に影響し合うことで高度な情報処理を行っていると考えられます。このように自然界で日々起こっている物理現象をデバイス構築や情報処理システム設計に積極的に取り入れることで既存のCMOS LSIとは全く違う新デバイスを生み出すことが可能となります。現在のところ非常に簡単なプロセスで基板上に不思議な構造を構築可能であることや波を使ったアナログコンピューティングが可能であることを見出しています。また、新しいナノ複合材料の研究も進めています。ここではナノテク材料としてカーボンナノチューブ（CNT）に着目をし、これを利用した複合材料を検討しています。CNTは多機能で非常に有用ではありますが使用するには少し工夫が必要です。本研究では日本伝統の和紙作製技術を利用し紙とCNTを混ぜ複合紙とすることでCNTの新たな応用分野を開拓しています。



基板上にできた不思議な構造と「波」を使った
アナログコンピューティング例

富井研究室

環境情報学府・情報メディア環境学専攻/電子情報工学科

准教授 富井 尚志

現実の社会で人々が生活する際に、SuicaやPasmoのような無線ICカード（無線IDタグ）が当たり前のように利用されるようになりました。また、安価な加速度センサなどを用いて、人の動作を正確に取得できるようになっています。これらのユビキタス技術によって、人々の活動をそのままコンピュータに取り込んで、IT（情報技術）の支援によって日常の生活を豊かにする試みがなされています。しかし最近では、これらのデータが爆発的に増加してきたため、これまでの単純なデータ蓄積手法だけでは十分なデータ管理が難しくなってきました。

本研究室では、ユビキタス環境から得られるセンサ情報をすべて関連付けてコンピュータ上に蓄積し自由に再利用できるような、データベースを基盤とした次世代の情報システムの設計・構築と、高度な応用事例の開発を目指しています。画像に示したのは、複数人の日常行動ログを蓄積し、相互の考えを共有して行動支援を行う「概念共有環境CONSENT」の実証実験例です。そのコアとなる方法論は「概念設計(Conceptual Modeling)」と呼ばれ、大量のデータを取り扱うデータ工学の分野ではひとつの研究アクティビティとして十分に認知されています。

会費納入のお願い

☆ 年会費、維持会費、または賛助会費納入の方法

(1) 郵便振替による納入：

同封の郵便振替払込取扱票をご使用下さい。

下記の事項をご記入頂き、郵便局にてお振込みお願いします。

年会費、維持会費または賛助会費を選択（維持会費または賛助会費納入年度の年会費は免除）、納入年度を記入（本年度はH21年度）、

また会費と合わせまして、総会懇親会費のお払込もお使いできます。

(2) 自動引落（年会費のみ）：

銀行または郵便局の自動引落のご利用も可能です。ご希望の方は、住所、FAX、メールアドレスの情報と共に、本会事務局に年会費自動引落ご希望の旨、ご一報ください。折り返し、申込み用紙をお送りいたします。自動引落のお手続き後は、面倒な処理無しに、年会費が引落とされるようになります。

☆ その他補足説明

(1) 年会費状況について

- ・現状：年会費制の運用開始から10年強経過。同窓会運営収入の最大の柱ですが、納入率は低迷状態。
- ・経緯：約10年前、同窓会役員会に於いて財政難の打開策の検討を実施。支出削減のための種々の方策を進めるとともに、会員の皆様に支出に見合った応分の負担をお願いせざるを得ないという結論となり、平成5年総会にて会費徴収制度を主とする会則改正案を可決、同6年度より会員の皆様に年額2,000円の年会費の納入のお願いを開始。

(2) 維持会費について

- ・現状：維持会員数は約400名で、納入金額累積額が1,500万円強。
- ・経緯：昭和62年度から本維持会員制度を開始。毎年延べ50口以上の収入があり、全会員に占める維持会員比率も増えており、現在1割近くまで増加。寄付的な意味合いも持つ当制度による蓄積は、本同窓会の強み。尚、納入累積が10口で終身会員となりまた、以後の年会費は免除となる。

(3) 賛助会費について

- ・現状：(平成19年度)から新設。
- ・特徴：金利が低い現状、維持会費（取り崩さない事が基本）からの利息収入は減少。一方、会員の皆様から、より直接的に利活用可能な会費制度新設のご意見もあり、維持会費と同じ主旨でかつ取り崩し利用も可能な会費として、この賛助会費制度を（平成18年7月の総会の議を経て）導入開始。納入が維持会費との合計累積10口で終身会員となり、以後の年会費は免除となる。

★ 住所、氏名、勤務先 ご変更の場合は、 事務局までご一報ください ★

1. ご氏名
2. ID番号 (同封の郵便振替払込取扱票のご依頼人欄にあらかじめプリントしてありますので、それを参照して下さい)
3. 卒業年
4. ご変更内容 ■住所変更通知(郵便番号、住所、TEL、Email) ■氏名変更通知(新氏名、旧氏名)
■勤務先変更通知(会社名、部課名、所在地、TEL、FAX、Email)

Email、FAX、郵送、いずれかの方法でご連絡くださいますようお願いいたします。